





(都道府県名を記入)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	津久見市（青江地区）
②人口（※1）	19,920人 ( 1,713 )
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	35.5% (34.2%) 7,064人 3,936人 ( 586人 )
① 取組の概要	青江地区社協では、区にある団体同士の横のつながりを第一に考えています。このつながりを強化するために、区・民生児童委員・老人クラブ・介護予防推進委員・子供会・消防団の役員が定期的に集まって話し合いを行っています。また、区の班単位で名簿を作成し、班長による「市報や回覧板の手渡し」、「新聞が溜まってないか?」、「夜になっても電気がつかない?」などの見守りを行うことで、一人暮らしの高齢者等の見守り支援と班内での変化に <b>早急な対応</b> ができるため、地区社協内での社会資源の活用と連携ができています。
⑤取組の特徴	班長一人ひとりがこの取り組み内容を理解しており、何かあった場合の対応についても周知ができています。
⑥開始年度	地区社協設立平成21年度 班単位での見守り開始平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成21年度に青江地区社協が設立し、地区社協の構成団体を増やすことで現在に至っている。 班長による見守り支援については、各地区に説明に出向いて理解していただいた上で平成24年度から実施している。
⑧主な利用者と人数	地区住民 1,713人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	【実施主体】青江地区社会福祉協議会 【関連団体】津久見市社会福祉協議会、地域包括支援センター、津久見市
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	総会や月例会に津久見市社会福祉協議会等と出席し状況確認や意見交換等を行っている。 市補助金（3万円）
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	
⑫取組の課題	現在やる気のある役員が高齢であるため、次を担う役員の育成が課題である。
⑬今後の取組予定	この取り組みを全市に広げる目標を掲げていますが、各区の高齢化率や取り組み内容に違いがあるため
⑭その他	





⑮担当部署及び連絡先	

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

